

科目名					授業の種類	授業担当者
障害児保育					演習	杉村 僚子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
2	2	60	30	通年	卒業: 選択	幼免: 選択 保育士: 必修
[授業の目的・ねらい] 保育所や幼稚園、児童発達支援センターなどにおいて、障害のある子どもの保育を行う際に必要な基本的知識を身につける。						
[授業全体の内容と概要] 障害の概念や関連する諸理論、障害児保育の歴史の変遷、主要な障害の特性と援助の方法など障害児保育の基本的知識を理解する。また、子どもへの直接的支援だけではなく、子どもを取り巻く環境に着目した支援の方法について学ぶ。毎回、レジュメを配布し、そのレジュメに沿って授業を進めていく。授業の内容に関連した課題(小レポート、グループ討論、発表など)を通して、理解を深める。						
[受講上の注意事項] 授業の中で、レポート課題や小グループでの話し合いを実施するので、これらの課題に積極的に取り組み、理解を深めるよう努めること。						
[使用テキスト] 基本保育シリーズ⑰ 障害児保育 (西村重稀・水田敏郎編集 中央法規)				[評価基準] 期末試験(60%)と授業中の課題(40%)		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項目		授業内容			
1	障害児保育の基本		障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について学び、障害児保育の基本的理念を理解する。			
2	乳幼児期の発達と障害		運動、認知、言語、コミュニケーション、基本的生活習慣など発達を捉える観点と乳幼児期の発達の様相について理解する。			
3	知的障害の理解		知的障害の捉え方や分類、知的障害をもつ子どもの特徴について学ぶ。			
4	知的障害をもつ子どもへの援助		知的障害や知的障害をもつ子どもの特徴について理解した上で、保育現場における支援の方法について学ぶ。			
5	発達障害とは		発達障害の定義や具体的障害、脳の機能障害、薬物療法、二次障害など発達障害の基本的事項について理解する。			
6	自閉スペクトラム症の理解		自閉スペクトラム症の概念や特性、自閉スペクトラム症をもつ子どもの特徴について学ぶ。			
7	自閉スペクトラム症をもつ子どもの援助		自閉スペクトラム症の特性や子どもの特徴について理解した上で、保育現場における支援の方法について学ぶ。			
8	注意欠如・多動症の理解		注意欠如・多動症の特性や子どもの特徴について理解する。			
9	注意欠如・多動症をもつ子どもの援助		注意欠如・多動症の特性や子どもの特徴について理解した上で、保育現場における支援の方法について学ぶ。			
10	限局性学習症の理解		限局性学習症の定義や特性、幼児期にみられる萌芽の特徴について理解する。			
11	限局性学習症をもつ子どもへの援助		限局性学習症の特性や子どもの特徴について理解した上で、保育現場における支援の方法について学ぶ。			
12	視覚障害の理解と援助		視覚障害の定義や分類、障害特性について理解した上で、支援の方法について学ぶ。			
13	聴覚障害の理解と援助		聴覚障害の定義や分類、障害特性について理解した上で、支援の方法について学ぶ。			
14	肢体不自由の理解と援助		肢体不自由の概念、臨床像、起因疾患、障害特性について理解した上で、支援の方法について学ぶ。			
15	子ども同士のかかわりと育ち合い		障害児保育の形態について理解し、子ども同士のかかわり、育ち合いについて学ぶ。			

16	子どもの理解の方法Ⅰ	子どもを理解するための方法として、保護者からの聞き取りや行動観察などについて学ぶ。
17	子どもの理解の方法Ⅱ	子どもを理解するための方法として、発達検査や知能検査といった心理検査について学ぶ。
18	発達支援の技法Ⅰ	感覚統合やムーブメント教育といった感覚や運動に働きかける支援方法について学ぶ。
19	発達支援の技法Ⅱ	ポータージ早期教育プログラムやソーシャルスキルトレーニングなど応用行動分析に基づいた支援方法について学ぶ。
20	発達支援の技法Ⅲ	構造化を中心としたTEACCHの手法を学ぶ。
21	保育課程に基づく指導計画の作成と記録および評価	保育所保育指針に記載されている障害児保育の留意点等を理解した上で、統合保育の指導計画案の作成、記録、評価について学ぶ。
22	個別の支援計画Ⅰ	アセスメントに基づいた支援計画の作成、実際の支援、支援の評価など、保育現場における支援の基本的枠組みについて理解する。
23	個別の支援計画Ⅱ	アセスメントの重要性やそれに基づいた個別の支援計画の作成、評価について学ぶ。
24	保護者や家庭に対する支援Ⅰ	障害をもつ子どもの保護者や家庭に対する支援の必要性、障害受容のプロセスについて理解する。
25	保護者や家庭に対する支援Ⅱ	親やきょうだいへの支援の方法について学ぶ。
26	地域の専門機関との連携	専門機関との連携の必要性、地域の専門機関の種類と役割、連携の方法について学ぶ。
27	就学に向けた支援	就学までの流れや特別支援教育の概要について理解した上で、移行支援の実際と課題について学ぶ。
28	保育現場における支援の実際Ⅰ	事例を通して、保育現場における障害をもつ子どもの支援の実際について理解を深める。
29	保育現場における支援の実際Ⅱ	事例を通して、保育現場における障害をもつ子どもの支援の実際について考察を深める。
30	まとめと試験	これまでの内容を総括し、試験を行う。